

iPhone アプリ開発のコツとツボ 35

Xcode4.5 対応および正誤表

2013.2.11 2 版

2013.1.7 初版

InfoPlist.strings の多国語対応について

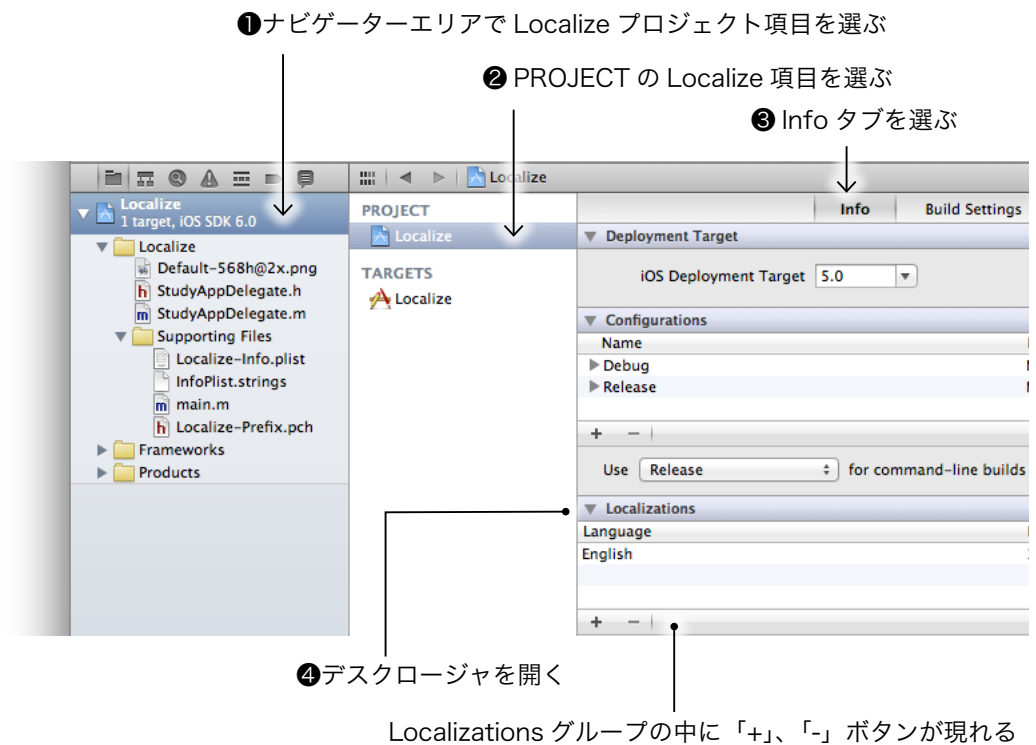
現行の Xcode (4.5.2) では多国語化の工程が変更されています。
本で説明している「+」、「-」ボタンは別の場所に移動し無くなりました。

「+」、「-」ボタンは別の場所
に移動し無くなりました



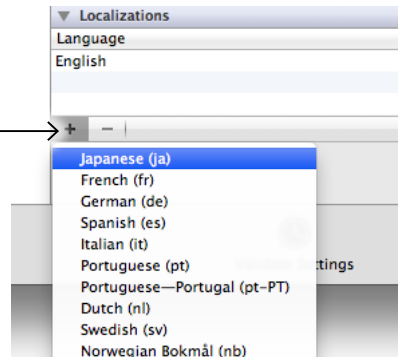
多国語化の最初の工程は、次のようになります。
ナビゲーターエリアで Localize プロジェクト項目を選び、エディタエリアの PROJECT の Localize 項目を選び、Info タブを選んでください。

表示される画面に Localizations というグループがあり、その中に「+」、「-」ボタンは移動しました。



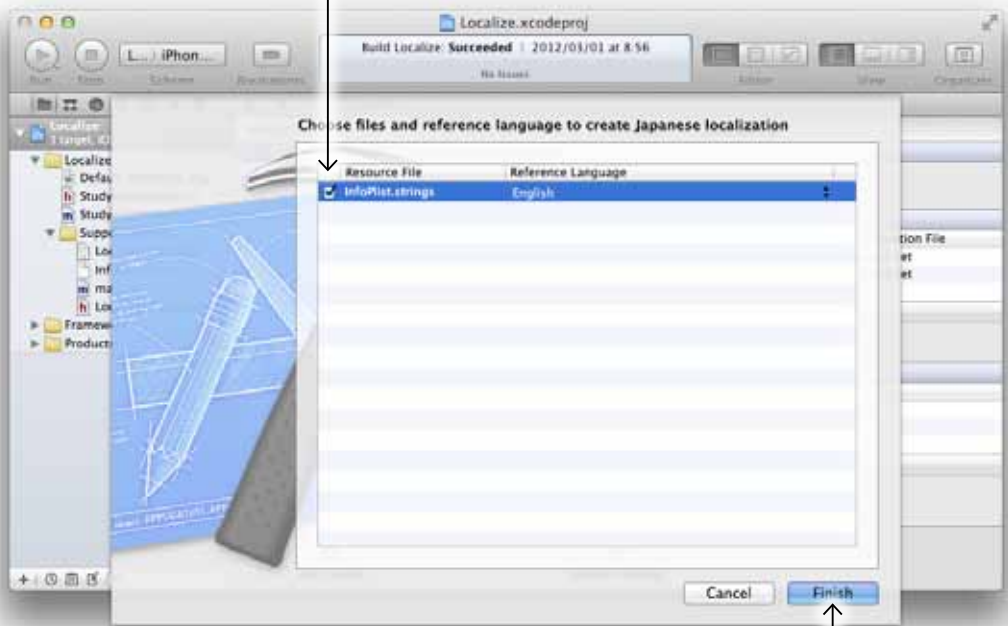
ここで「+」ボタンを押し、表示されたメニューから「Japanese(ja)」を選ぶ事で、日本語が追加されます。

「+」ボタンを押し、表示されたメニューから「Japanese(ja)」を選ぶ



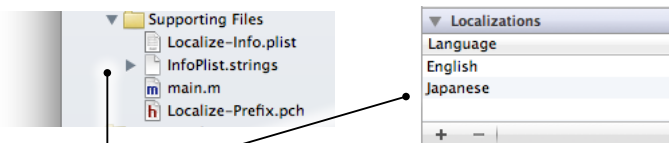
メニューを選ぶと、プロジェクト内の、その時点で多国語化対象となるファイル一覧が表示されるので、多国語化したいファイル（今回なら InfoPlist.strings です）にチェックを入れて、Finish ボタンを押します。

InfoPlist.strings にチェックがついている事を確認する



Finish ボタンをクリック

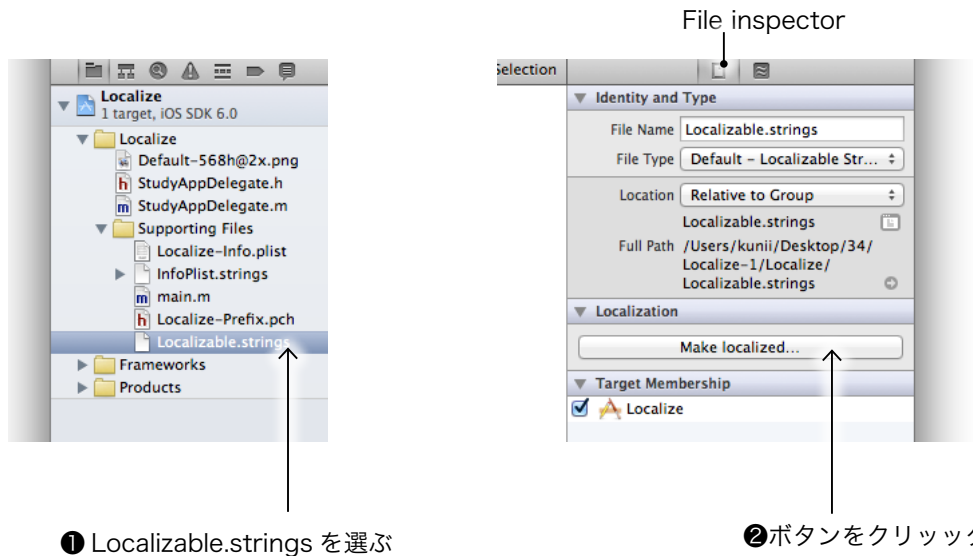
これで InfoPlist.strings が多国語化されます。



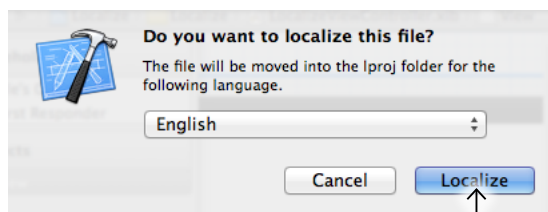
多国語化される

en.lproj や jp.lproj と同じ階層に置いた場合

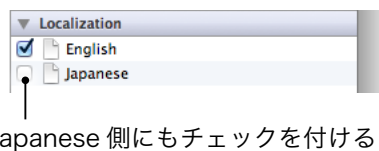
Localizable.strings を選ぶと、ユーティリティエリアの File inspector の Localization グループに「Make localized…」ボタンが現れるのでボタンを押してください。



選択したファイルを、どの言語用にするかたずねられます。English のままでかまわないので、Localize ボタンを押してください。



Localization グループ内に English と Japanese の項目が表示されるので、選ばなかった方の言語にもチェックを付けます。



これで Localizable.strings も多国語化されました。



多国語化されます

正誤表

116 ページ

-initWithFrame: は -initWithFrame: の間違いです。

まず、TargetActionHandlerというNSObject派生クラスのファイルを作り、プロジェクトに追加してください。

 NSObject派生クラスをプロジェクトに追加 | Q01

用意ができたなら、Buttonクラスの-setTarget:action:forEvent:メソッドや、Button.mで用意されたTargetAndActionクラスはTargetActionHandler.m側に移動します。そしてinitWithFrame:メソッドおこなっていたNSMutableDictionaryインスタンスの作成もTargetActionHandlerのinitWithFrame:メソッド側に移動です。

-initWithFrame:

159 ページ

-setNeedDisplay は -setNeedsDisplay: の間違いです。

 サンプル 10/CustomLayer-2-arrow

CALayerは指示されるまでcontentsプロパティを更新しようとしません。そのため直後に-setNeedDisplayを送っています。この使い方はUIViewと同じです。

Runすると以下の矢印が画面に表示されます。

確認のためCALayerのborderWidthプロパティも設定したので、矢印も表示させています。



-setNeedsDisplay

160 ページ

-setNeedDisplay は -setNeedsDisplay: の間違いです。

 10 CALayerに独自の外観を持たせるには？

-setNeedDisplay

デリゲートデザインパターンによるCALayerの外観の変更では、対象のCALayerに-setNeedsDisplayを送ることで、以下のような順路でオフスクリーンが加工されCALayerのcontentsプロパティが更新されます。

-setNeedsDisplay

-setNeedDisplay は -setNeedsDisplay: の間違いです。

10 CALayerに独自の外観を持たせるには？

この contents プロパティに直接設定したCGImageRefは、CALayer自身に-setNeedDisplayメッセージを送られると失われてしまう事に注意してください。CALayerを継承する方法で説明したCALayerの-drawInContext:メソッドによって、別のCGImageRefに置き換えられてしまうからです。-setNeedDisplayメッセージにも対応したい場合は、デリゲートデザインパターンで、-displayLayer:メソッドを提供し、そちらでcontentsプロパティに設定する方法があります。

-setNeedsDisplay:

印刷用の記号が残されていました。赤丸で囲まれた「%」はソースとは関係ありません。見えないものとして扱ってください。

ExtendablePalletView.m

```

- (void)nextSetupView
{
    %%
    [setupview removeFromSuperview]; ← ●現在の編集画面をとりはずす
    curtIndex++;
    if (curtIndex >= [delegate palletviewEditorCount:self]) ← ●次の番号を決定
        curtIndex = 0;
    setupview = [delegate palletview:self editorFrame:
                 CGRectMake(80, 10, 200, 280) atIndex:curtIndex];
    [self addSubview:setupview]; ← ●新しい編集画面を貼付ける
}

- (void)setDelegate:(id)inDelegate
{
    delegate = inDelegate;
    curtIndex = 0;
    setupview = [delegate palletview:self editorFrame:
                 CGRectMake(80, 10, 200, 280) atIndex:curtIndex];
    [self addSubview:setupview];
}

```

印刷用の記号が残されていました。赤丸で囲まれた「%」はソースとは関係ありません。見えないものとして扱ってください。

StudyAppDelegate.m

```

- (void)test:(NSString*)documentsDirectory
{
    % DateFormatter* formatter =
    [[[NSDateFormatter alloc] init] autorelease]; %
    [formatter setDateFormat:
     @"今日は 'y M d' で、時間は 'H:m:s' です。"];
    name = [formatter stringFromDate:now];
    printf("date = %s\n", [name UTF8String]);
}

```

-initWithFrame: は -initWithFrame: の間違いです。

[参照](#)

ボタンの組み込み | Q23

UIAlertViewはUIView派生クラスなのですが、初期化にはinitWithFrame:ではなく

```
-initWithTitle:message:delegate:cancelButtonTitle:otherButtonTitle:
```

-initWithFrame:

-initWithFrame: は -initWithFrame: の間違いです。

2 HeartViewControllerがUIViewを作成するタイミング

ただ、HeartViewインスタンスを作成しHeartViewControllerのviewプロパティに埋め込む処理は、どこに実装すればいいのでしょうか？

UIViewに入れ子のUIViewを組み込む時はinitWithFrame:メソッドをオーバーライドして貼付けました。しかしUIViewControllerの場合、事情が違って少し勝手が違います。最初に答えを言うと上記の処理は

-initWithFrame:

-initWithFrame: は -initWithFrame: の間違いです。

一覧表を表示するには？ [Q](#) 31

ただしUIViewと違い、initWithFrame:にもう1つ、外見を指定するstyle:という引数が必要です。ここではUITableViewStylePlainを指定します。

-initWithFrame:

